

●六呂瀬山古墳群

六呂瀬山古墳群は坂井市丸岡町上久米田丘陵上に造られた前方後円墳・円墳の4基からなる古墳群です。

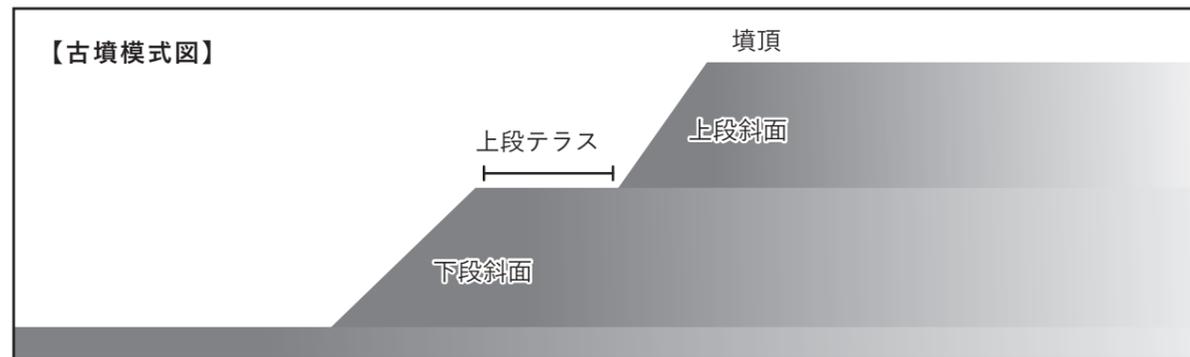
前方後円墳である1号墳と同じく前方後円墳である3号墳、円墳である2号墳と4号墳があります。

1号墳は今から約1600年前（古墳時代中期）に造られました。墳丘は2段築成で斜面には葺石が並べられています。また、墳頂とテラスには円筒埴輪が並べられていたことが分かっています。

1号墳では過去の調査で笏谷石^{しやくだいにし}で作られた舟形石棺^{ふながたせつかん}と呼ばれる棺の破片がみつかっています。笏谷石で作られた石棺は、六呂瀬山1号墳が造られた当時、越前地域の有力者が好んで使っていたものであり、1号墳も越前の有力者の一族であった可能性があります。

3号墳も今から約1600年前（古墳時代中期）に造られたと考えられます。1号墳と同様に2段築成で、斜面に葺石を並べています。3号墳からは円筒埴輪や朝顔形埴輪、家形埴輪、短甲形埴輪^{たんごう}、蓋形埴輪^{きぬがさ}など埴輪の種類が豊富なことが特徴です。

これらの古墳を調査していくことで、古墳の造り方が分かるだけでなく、古墳が造られた当時、越前地域がどのような社会状況だったのかを探る手掛かりになるのです。



●これまでの調査や事業

昭和53年 (1978) 福井県教育委員会が国道364号建設に伴う発掘調査を行いました。

昭和60年 (1985) 丸岡町教育委員会が範囲確認に伴う発掘調査を行いました。

平成9年 (1997) 国道沿道スペースの整備を行いました。

平成21年
～
平成25年 (2009～2013) 指定となっている六呂瀬山1～4号墳以外に古墳はないかを確認するため古墳周辺の発掘調査を行いました。他の古墳の存在は確認できませんでした。

平成30年
～
令和2年 (2018～2020) 六呂瀬山1号墳整備に向けた基本情報を確認するため発掘調査を行いました。令和3年度に、初めて報告書を発行しました。

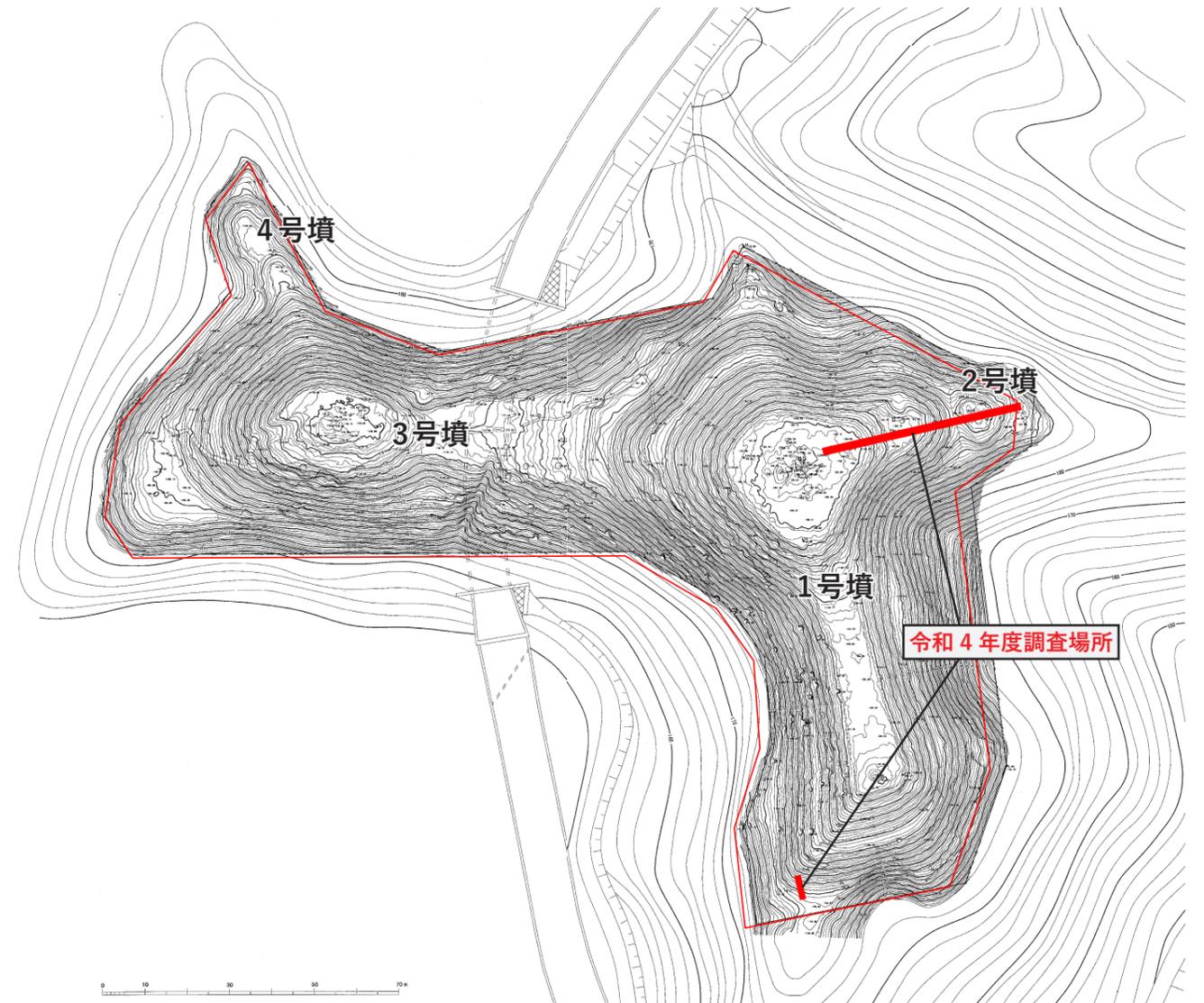
お問い合わせ先

福井県坂井市坂井町下新庄1-1 坂井市教育委員会 文化課

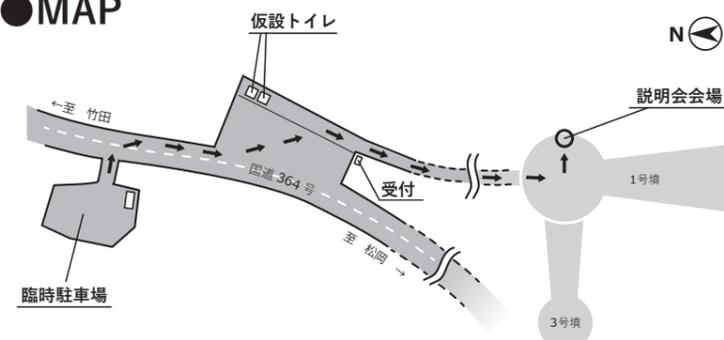
TEL : 0776-50-3164
Mail : bunka@city.fukui-sakai.lg.jp

令和4年11月12日(土)

ろくろせやまこふんぐん
坂井市 **六呂瀬山古墳群**
発掘調査現地説明会資料



●MAP



※道の舗装は途中までしかありません。
会場まで勾配の激しい山道が続きますので足下に十分お気をつけてお進み下さい。

発掘調査成果

② 1号墳 張り出し部 葺石・円筒埴輪列出土状況



【概要】

所在地：坂井市丸岡町上久米田・下久米田地区

指定年：平成2年 国史跡

指定面積：16,352 m²

概要：前方後円墳（1・3号墳）、方墳（2・4号墳）の計4基で構成

調査原因：国道364号建設に伴う発掘調査（昭和53(1978)年）

調査期間：令和4年10月18日～11月15日

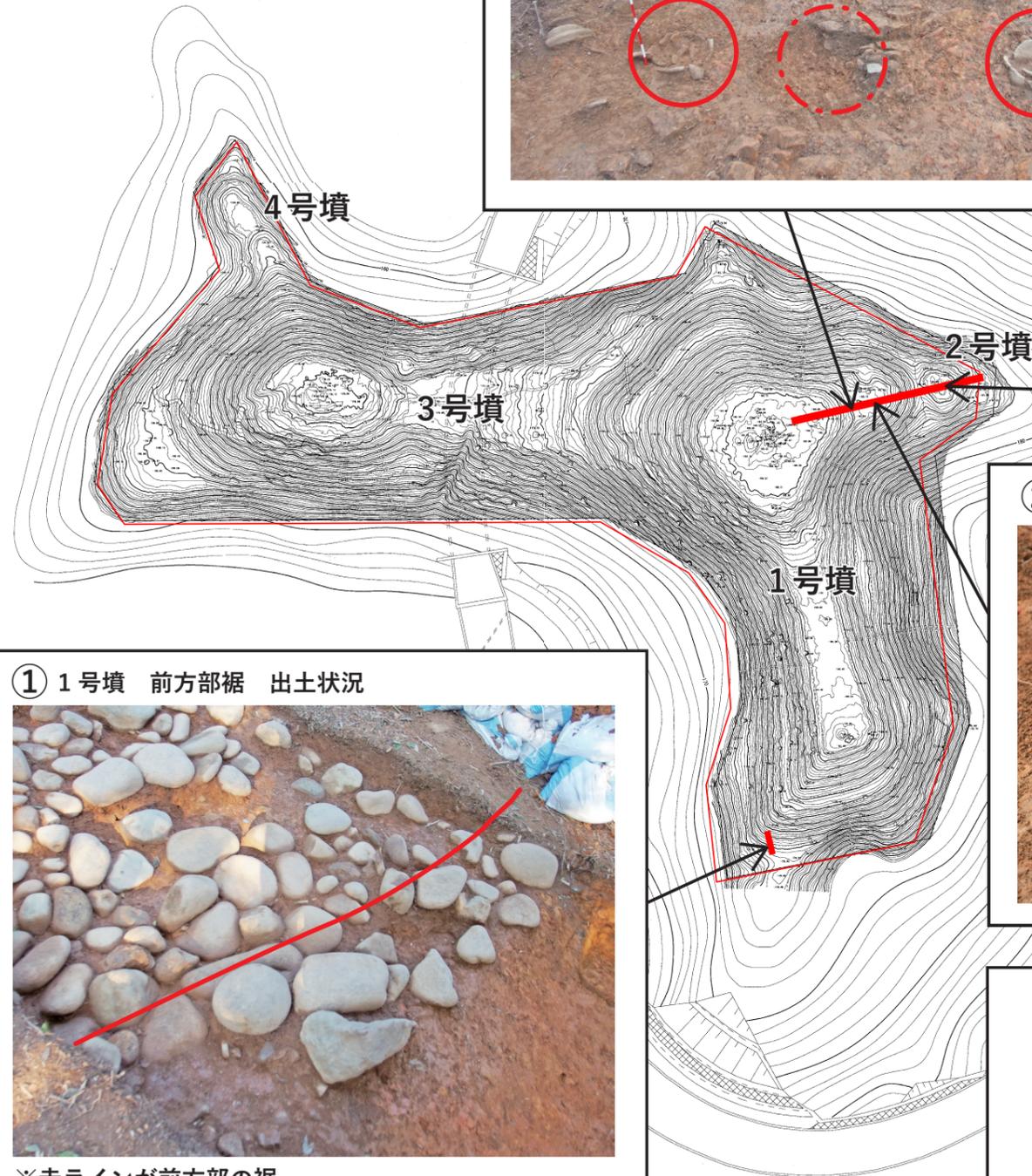
【調査内容と成果】

調査内容：六呂瀬山1号墳の全長把握及び墳頂埴輪列の確認、張り出し部の特徴を明らかにすること、今まで未調査であった2号墳の確認。

調査成果：①これまで1号墳の全長は約140mとされてきたが、今回の調査で前方部裾を確定し、**143m**になり、**北陸最大の古墳**であることが判明した。

②1号墳張り出し部から家を模した埴輪片や小型の壺が見つかり、この場所で祭祀を行っていた可能性が高いことがわかった。

③これまで陪塚（ばいちょう）と予測されていた2号墳が、発掘調査によって陪塚であることが確定した。※陪塚とは大型の古墳に伴う小型の古墳



① 1号墳 前方部裾 出土状況



※赤ラインが前方部の裾

② 1号墳 張り出し部 出土状況



③ 2号墳 埋葬施設出土状況



主な出土遺物



家を模した埴輪の一部
(屋根の部分)



小型の壺



はしご かごいがた
梯子もしくは畝形埴輪



食べ物を模した土製品